

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団の魅力発信・加入促進事業

自治体名

鳥取県

消防団名

1 事業の目的・必要性

大学生等の若者に防災や消防団とその活動について興味・関心を持ってもらい、将来的な消防団への入団につなげることを目的とする。県内の消防団員数は減少傾向にあり、平均年齢は上昇傾向にあるため、若者層への働きかけが必要である。

2 事業内容

- 大学等と連携し、学生と消防団員との交流の機会を設ける。
- 学生に対し、消防団の活動体験やワークショップ等を行い、防災や消防団活動等に関する知識向上を図る。
- 防災サークルが地域住民や防災関係者等と協力して行う防災研修、防災ゲーム等の実施を支援する。
- 県内外の防災サークル間が交流・連携できる機会を設け、活動の幅を広げる。
- 市町村や大学等と連携し、消防団の魅力や活動を紹介するリーフレットを作成し配布する。



消防団との交流の様子



加入促進リーフレット

3 事業成果

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で近年開催ができなかったイベント等が多く開催され、各大学等も積極的な活動を実施することができた。また今年度は、新たに公立鳥取環境大学に防災同好会が発足し、イベント等を通じて学生の消防・防災活動への意識の向上が図られた。

さらに新たな試みとして、大学・市町村と協力し、学生と現役消防団員が直接交流する場を設けたことで、学生が消防団の活動をより身近に感じることができ、学生1名の入団につなげることができた。

リーフレットは、若年層をターゲットとし作成。学生、在住外国人など多様な消防団員のインタビュー、消防団と学生の交流の様子などを記載。各市町村、高等教育機関、商工会議所等5,000部を配布し、広く周知を図った。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
消防団員・関係者との交流会等	開催回数	1回	1回	当初の成果指標の目標値は概ね達成することができた。 特に、各大学が防災ワークショップやイベントでのブース出展を通して、地域に対して防災啓発活動を実施し、学生に主体的に活動してもらうことができた。 今後は学生と消防団の交流や、学生が消防・防災分野について学ぶことができる研修等の回数をより増やしていきたい。
消防団の活動体験・防災ワークショップ	参加回数	2回	2回	
学生サークル主催の防災研修・防災ゲーム等	開催回数	2回	12回	
防災サークル間の交流	開催回数	1回	4回	
消防団員募集リーフレットの作成に係る活動	参加回数	1回	1回	

5 その他参考情報